

2025 年：取り組み日誌（抜粋）



広報広聴委員会視察
(周防大島町議会)



テゴスの活動に参加

※「一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構」の略称
野生鳥獣による農作物被害を低減するために設立され、市町
と連携して鳥獣害対策に取り組んでいます。



平和のつどい MIYOSHI



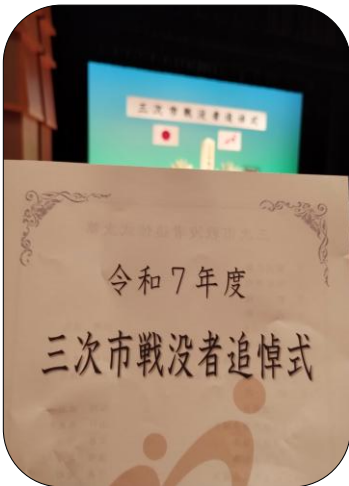
街頭での活動報告



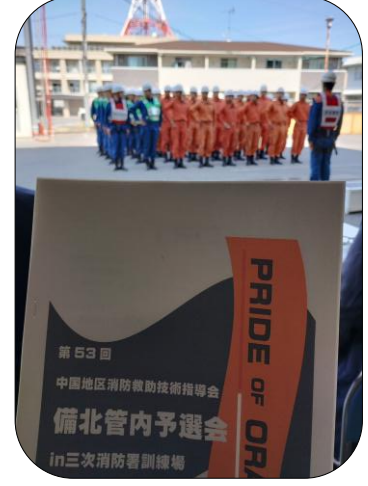
三次小学校落成式



江の川夏まつり in 作木



三次市戦没者追悼式



消防救助技術指導会
備北管内予選会

2026年1月22日

第14号

発行所：竹田けい後援会

発行責任者：升井 紘

竹田けい後援会だより

【12月定例会 三次市政へ質疑を行う】

12月定例会報告

11月28日から12月12日まで12月定例会が開催されました。12月定例会では、条例改正、工事請負契約、補正予算など、16本の議案が提案・議論されました。

また、「非核三原則の堅持」「地域住民の医療を受ける権利の保障」「物価上昇に見合う年金引き上げ」などの意見書が採択されました。

【一般質問の概要】

- ①若者の人口流出、働く人材不足解消などに対し、定住・移住対策の充実が不可欠。国や広島県の各種施策の活用及び予算確保を求める。
- ②中山間地域における医師の確保は喫緊の課題であり、医師育成奨学金制度の見直しを求める。
- ③放課後児童クラブの民営化については、保護者をはじめ、関係者との丁寧な協議が必要。実施時期に固執せず丁寧な協議を求める。



一般質問する竹田けい

- ④市役所、中央病院とも人員不足の状況と認識している。特に、専門知識を有する職種の採用の取組を求める。

また、障がいのある方の積極的な雇用と働きやすい職場環境改善を求める。

2025年を振り返って

三次市議として2年目となりました。『小中学校の統廃合』『放課後児童クラブ民営化』といった課題に向き合い、子どもたちの未来への不安、地域の活性化の課題などを追及してきました。今年も、様々な場所へ出向き、皆さんの声を聞かせていただき日常の不安や悩み、課題を一つでも多く解決できるよう引き続き取り組んでいきます。



ホームページ



Facebook



Instagram



SNS にて活動
報告、発信中！